


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成29年2月15日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第4号	質問議員	4番	見玉洋一 
件名	スポーツ交流を通して元気なまちづくりを			
要 旨				
<p>豊かな自然環境に恵まれた山北町は、その特性を活かした様々なスポーツイベントが開催されています。丹沢湖ハーフマラソン大会やカヌーマラソン大会、森林を駆け抜けるアドベンチャーランなどは町内外からも多くの参加者が集う大変人気のイベントです。また、森林セラピー、登山、ハイキングなどは世代を問わず、愛好家や観光客が西丹沢を訪れており、健康増進や体力づくりを通じたスポーツの果たす役割は大きくなってきています。このことは、第5次総合計画の「スポーツ活動の推進」や「健康づくり活動の充実」にも示されている通り、今後、こうしたスポーツを通じて町内外との幅広い交流が、更なる元気なまちづくりにつながると期待できることから、次の点について質問いたします。</p> <p>(1) 健康福祉センターをスポーツ拠点に</p> <p>健康福祉センターは現在、町民を対象に各種検診やサークル活動支援など、健康づくりへ積極的に取り組んでいます。週末は町外からも登山やハイキング、マラソンやサイクリングなど多くのスポーツ愛好家で賑わいをみせています。今後、こうしたスポーツ交流人口の更なる拡大を図るため、以下の点を要望したく、町の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1) ランニングやサイクリング専用のルートMAP作成2) サイクルラック、自転車用工具、パンク修理キットの設置3) ウェアやシューズなどレンタル用品の取り扱い4) 補給食・補給飲料など、スポーツ利用者向けの商品販売5) 共和のもりセンターやビジターセンターなどの新たな拠点整備 <p>(2) 丹沢湖で利用できる新たなスポーツアクティビティを</p> <p>現在、丹沢湖でできるスポーツアクティビティは、環境整備公社により、カヌーや貸しボート、レンタサイクル運営事業などを展開しておりますが、近年カヌーやカヤックなどと同様、新しいウォーターアクティビティとして、スタンドアップパドルボード（以下、SUP）が人気を博しています。SUPは大きめなサーフボードの上に立ち、パドルで水を漕ぐだけの比較的簡単なスポーツですが、その用途は単に</p>				

レースやクルージングだけでなく、フィットネス効果としてボード上で行うヨガやピラティスなど、現在各地で体験教室などが行われています。昨年のカヌーマラソン大会でも SUP の一時利用が認められた経緯もありますが、今後カヌーやカヤックと共に丹沢湖でできる新たなスポーツアクティビティとして、SUP の通年利用ができる環境を整備する考えはあるか、町の考えを伺います。

(3) スポーツ観光を活用したまちづくりを

現在、スポーツによる地域活性化は、全国各地で様々な取り組みが進められており、平成 23 年 6 月にはスポーツと観光の融合を目的としたスポーツツーリズム推進基本方針が制定されました。自然豊かなフィールドを有する山北町に多くの方が訪れ、スポーツをした後は温泉で疲れを癒す。まさに、スポーツツーリズムに適した地域ではないかと感じております。

今後、観光協会や旅館組合などと連携し、ユーシンブルーハイキングツアーや 2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種スポーツ団体の合宿先誘致など、国内だけでなく外国人観光客を呼び込むための施策が必要だと思いますが、町の考えを伺います。

以 上